



“憲法はGHQでなく 日本人が作ったんですね”

<大学の講義で、NHK・BS『誕生!日本国憲法』を視聴して>

◆関東地方の教員養成系大学のN先生は講義の中で、NHK・BSの番組『誕生!日本国憲法』(2017年2月15日放映)を視聴させました◆番組の内容は、終戦直後に民間人7人で構成された「憲法研究会」が『憲法草案要綱』を作成し、それを基にしてGHQが日本国憲法を制定した過程を明らかにし、GHQ押し付け論の誤りを指摘したものです◆学生さんの素晴らしい感想に注目です。

若い人たちがこんなに真剣に“憲法”を考えています

番組について学生さんのレポート

日本人が自ら作った日本国憲法

◆日本国憲法は今までGHQが中心になって作られた憲法というイメージを持っていた。しかし、今日の動画(NHKの番組)を見て、戦争中苦しんできた日本人(民間の7人)が中心となって日本国憲法が作られたと知り、イメージが大きく変わった。日本を民主化させるためにGHQから押し付けられたものではなく、日本人が自らが選んだ憲法であるという認識を持つべきだと思った。

◆「憲法研究会」の提案や会議の中には、国民のことを頭に入れて考えたものが多く、7人の心の強さ、思いの強さを感じた。(戦争中の言論弾圧など)自分の経験をもとに国をもっとよくしようという気持ちの強さが憲法を変える大きな力となったことに感動した。

◆今までこんな壮絶な憲法成立の背景を知らないで、のうのうと生きてきたことが恥ずかしくなりました。「憲法」への姿勢も変わり、私も将来こんな憲法の授業がしたい。

GHQが決めた憲法と思っていたが

■憲法はGHQがすべて決めていると思っていたので、日本の民間人7人が草案を考えたと知り驚きました。70年近く経った現在、その憲法が受け継がれてきて良かった。

明治憲法と変らなかった“松本案”

●日本国憲法の誕生に関して“松本案”が日本政府から出されたが明治憲法とほぼ変らなかったためGHQに反対され、“マッカーサー案”がGHQから出され日本政府が修正して現憲法が出来た。そのGHQ案が日本人の草案を参考にしたことを初めて知った。



1945(昭和20)年8月15日、日本は降伏。11月5日鈴木安蔵など7人のサムライ(民間人)で憲法研究会が発足。6回の審議で12月26日全58条の『憲法草案要綱』が完成し、それを参考にGHQ草案、日本政府により現憲法が誕生する。

『憲法草案要綱』を作成した 憲法研究会の7人



高野岩三郎(74) 大原社会問題研究所長・元東大教授
初代NHK会長



杉森孝次郎(64)
文芸評論家
元早大教授



森戸辰男(56) 社会学者・元東大助教授・後に片山・芦田内閣の文部大臣



室伏高信(53)
評論家・元朝日新聞記者・雑誌「新生」を発刊



岩淵辰雄(53) 政治評論家・元読売新聞政治記者・後に国会議員(貴族院勅撰議員)



馬場恒吾(70)
第3回会合より参加
ジャーナリスト
読売新聞社長



鈴木安蔵(41) 会で唯一の憲法学者・最年少だが会のまとめ役として「憲法草案要綱」を起草した。



学生さんのレポート・表ページの続き

25条の生存権は森戸辰男さんの主張で

◆25条の生存権は民間の草案にはあったが、審議過程で一度削除されていて、森戸辰男さんの説得がなければ憲法で保障されなかったという事実には驚いた。

◆森戸辰男さんが議会で諦めることなく25条の存在を主張してくれたからこそ、今の暮らしができてきているんだな実感している。こうして勝ち取ってきた歴史を今回知ることができもっと憲法について理解を深めていきたい。

◆私は高校生のとき日本史の先生に森戸辰男さんのことを教えてもらいとても興味を持っていました。また憲法第九条を変えてはいけなくと強く思いました。

◆コロナ禍により沢山の家庭が苦しめられたが、日本国憲法第25条に生存権が明記されているから10万円給付やアベノマスクが国民全員に配られたと解釈している。

新憲法に意欲的だった鈴木安蔵さん

■会の中の唯一の憲法学者鈴木安蔵さんは、戦争中に厳しい言論弾圧や投獄をされ、また軍国主義や戦争を賛美したことを恥じて「憲法草案」を作ろうと意欲的だったと思う。

■鈴木安蔵さん達7人が、戦時中に大変な思いをしたからこそ、天皇制や25条の生存権について努力して変えてくれたのだと分かり、彼らがいなければ今の私たちは無いかもしれないと思うと感謝の気持ちが湧いてきた。

■憲法研究会の7人の壮絶な闘いがあったことが分かった。特に人間が人間らしく生きるのは当たり前だが、昔はこの生存権が保障されていなかったということを知って驚いた。

保障されている人権や憲法の有り難さ

◆普段、当たり前のように行っている行動の一つ一つに人権が保障されていることを改めて実感した。その権利がなくなったらどうなるのかを考えれば、保障されている権利や憲法のありがたみに気づけやすかった。

◆私は入管施設の実態について、日本にいるすべての人々に生存権が保障されているか疑問に思う。基本的人権は日本国民でなくても外国人でも同じ人間であり、すべての人の自由が保障されていなければならないと思う。

とんでもない憲法にならないように

■少し前に憲法第9条に反すると集団的自衛権が話題になり、戦争を経験した日本がまた戦争をしてしまう可能性が出てきているというニュースを耳にした。日本国憲法を改正する動きがあるが、なぜ改正するのか、改正したらどうなるか、知らないうちにとんでもない憲法にならないようにしなければならぬと思いました。

■私はこれまで政治にあまり興味がなく、選挙でも立候補者や政党について調べることもなく、周りの意見や有名な党に入れるということをしてきた。しかしこうした政治参画の機会があることをもっと意識して、一人の権利者として自覚を持たなければいけないと考えた。

今の政治家は自分の金のために改憲を

●現在の政治家は「国を変えるための憲法改正」と言っているが、元をたどれば自分の金のためだろうと考えると、この7人のサムライの強さを見習ってほしいと思うし、国を変えるためには強い気持ちや思いやりが必要だと思う。

●誰が作ったかだけで憲法を変えようとすることには疑問で、内容を重要視すべきです。

歴史を学ぶことは大切だと思った

◆今日このDVDを視聴して、このような人達（憲法研究会）がいてくれたからこそ、今の日本があるのだと思いました。今当たり前に暮らしている毎日は、このように過去に頑張ってくれた人達がいたからこそ毎日だと感じました。だからこそ、歴史を学ぶことはとても大切だと思いましたし、これからの日本のために、今の私達ができることは何かを考え行動していく必要があると思いました。

◆小中高校で憲法を学ぶことが非常に大切で、私が教員になった時に、今回の映像のような憲法成立の背景を知ってほしいと思った。

◆これまでの憲法の授業は、暗記のイメージが強く難しいと感じることが多かった。憲法の歴史、どのようにして誕生したのか、誰が関わっていたのかなどの背景については考えることがなかった。憲法はアメリカが中心になってつくったから改正しなければならないと高校ではよく聞かされていたが、すべてをうのみにしてはならないと感じた。

○学生さん約140名のレポートから21名分だけを選んでみました。憲法制定の歴史を知り、「GHQの憲法押し付け論」の誤りに気づき、日本の将来や世界の人々の人権なども考え、若い学生さんの真剣な学びの様子に大きな希望を感じます。さらに、指導されている先生にも敬意を表したいものです。